

# 応募から 事後活動まで

## 応募

各都道府県の青年国際交流主管課又は  
全国的な組織を持つ青少年団体へ  
参加申込書及び作文を提出（1月下旬～3月）

- 年齢条件**  
18歳～30歳であること  
（募集年度の4月1日時点）  
※「地域コアリーダープログラム」  
は23歳～40歳

## 選考

**第1次選考（3月～4月）**  
各都道府県、青少年団体が定める選考試験を受験

**第2次選考（5月～6月）**  
内閣府は、各都道府県及び青少年団体からの推薦に基づいて第2次選考試験の受験者を決定し、第2次試験を実施。  
場所：東京都千代田区中央合同庁舎第8号館  
（「世界青年の船」事業のみ大阪でも選考を実施）

## 事前研修

第2次選考試験合格者は、事前研修（6月～9月）に参加し事業の趣旨、内容、訪問国等についての理解を深め、必要な諸準備を行う。

## 事業参加

出発前研修→事業参加→帰国後研修

## 事後活動

内閣府青年国際交流事業の参加者を中心に、日本青年国際交流機構（International Youth Organization of Japan: IYEO）という国際交流団体が組織されています。参加しての感想や現在の活動にどう生かしているかなど、関心のある方はHPをご覧ください（<http://www.iyeo.or.jp/ja/>）

### 各都道府県 IYEO



各都道府県で、人材育成を基本においた国際交流や地域コミュニティ活性化活動を行います。各事業のホームステイ受け入れ、地元留学生との交流、被災地の復興支援など、活動は多岐に渡ります。

### IYEO グローバル ネットワーク



各国の事後活動組織が自国内で様々な活動を行っています。また世界に広がるネットワークを生かし、自分たちが取り組む活動を世界的な規模に広げることができます。

### こんなひとにおすすめ！

- 国内外の青年とのネットワークを形成したいひと
- 国際交流を通じた社会貢献を志すひと
- 実践的なコミュニケーション能力、リーダーシップ、異文化対応力を高めたいひと



## まずはここから

お問い合わせ先…内閣府 青年国際交流担当室

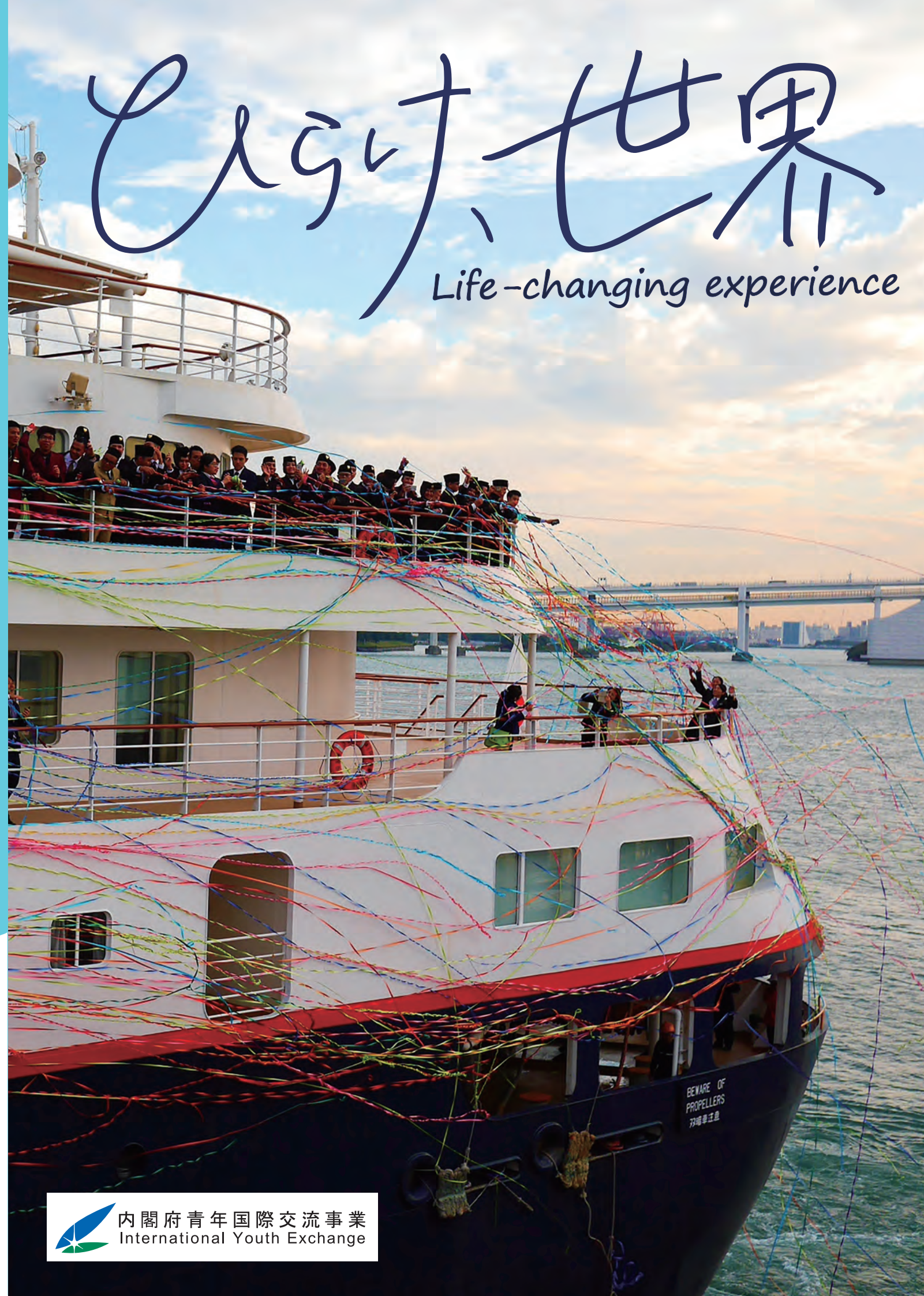
電話 03-6257-1434（月～金 9:30-18:15）

青年国際交流

\*事業内容や応募方法等は変更となる場合があります。最新の情報は内閣府ホームページにて確認してください。

# Change the World

Life-changing experience





# 一歩踏み出せば、人生はもっと豊かになる

内閣府では、国際社会や地域社会で活躍する次世代グローバルリーダーの育成を目指して、6つの国際交流事業を実施しています。

## 世界青年の船

1967年度開始の「明治百年事業」にルーツがある事業です。毎年異なる世界10か国から集まった外国青年と船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を行います。プロジェクトマネジメントや異文化対応を、理論・実践の両面で強化することに重点をおいた事業です。(約30日間)



## 日本・韓国青年親善交流

1984年の日韓両国首脳会談における共同声明の趣旨を踏まえ、1987年から開始された日韓両政府による共同事業です。文化紹介やホームステイを通じた交流、文化、教育、社会福祉等の各種施設の訪問等を行います。これらを通じて、日韓関係の将来に向けたありようについて踏み込んで考え、どのような領域で青年たちが東アジア地域の発展に貢献できるのかを考えてゆく機会ともなります。また、日本に招へいした韓国青年と日本青年との合宿文化交流会等を行っています。(15日間)



## 日本・中国青年親善交流

1978年の日中平和友好条約の締結を記念し、1979年から開始された日中両国政府による共同事業です。文化紹介やホームステイを通じた交流とともに、ビジネス環境・就職・ボランティアの状況などについて、両国の共通点や相違点などを掘り下げて考える機会ともなる大学生との意見交換、グローバルに飛躍をとげる中国の先進企業訪問、起業をめぐるビジネス制度等に関連する施設の訪問等を行う多彩なプログラムです。(12日間)



## 国際青年育成交流

皇太子殿下の御成婚を記念して1994年に開始した事業です。バルト三国や中南米及びアジア諸国などに日本青年を派遣し、訪問国では現地青年との社会事情に関するディスカッション、企業等施設訪問及びホームステイを行います。また、帰国後は、日本に招へいされた外国青年と一同に会して国際青年交流会議に参加し、3日間にわたる外国青年とのディスカッションを通じてプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めます。(18日間)



## 東南アジア青年の船

1974年に開始したわが国とASEAN諸国との共同事業です。ASEAN10か国の青年と船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を行います。東南アジア各国から選びぬかれた青年とのネットワークを構築するとともに、アジア地域の未来を担う人材の育成を図ります。(約40日間)



## 地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」

高齢者、障害者、青少年の3分野に特化した社会活動経験者向けの派遣事業です。各国で同じ分野で働く同世代の若者との交流や政府機関・関連団体及び施設の訪問や意見交換等を通じて、人的ネットワークを形成し、社会課題解決能力を高めます。(10日間)



内閣府の国際交流事業では、プログラムを通じて次の能力が養われることを期待します。

- 世界で通用する **プレゼンテーション** 能力
- 日本について **対外的に発信** する能力
- **コミュニケーション** 能力
- 地域や集団における **課題解決** 能力
- 訪問国元首など要人表敬を通して身につける **グローバルな視点**